

# 鳥取県スキー連盟ポイント要項

令和7年11月12日改訂

## 1. 競技

- (1) ポイント計算の対象となる競技会は、12月31日までに、後援申請及び公認申請された競技会とする。(連盟会長)
- (2) 競技は、毎年12月01日より翌年4月30日に至る期間に行われること。
- (3) スケジュールの変更、競技の開催日及び場所の移動、競技の中止あるいは、競技予定の何等かの変更は、直ちに以下の3つの機関に報告を行うこと。
  - ・本連盟理事会(連盟会長)
  - ・オペレーター委員会
  - ・担当の技術代表
- (4) スタート方法…原則的には、ポイント順でスタートする。主催者決定事項を優先する。  
第1シードは最大15名としトップ選手に100点をプラスしたポイントまでをドーローすることが運営上望ましい。  
(アルペンに於いては追い越しの解消のため)  
公認大会において、スタート順を変更する場合には、大会要項に明記しなければいけない。
- (5) 各公認大会で出された公式記録は、T・Dがポイントもチェックし発表するものとする。  
TDは、直ちに以下の3つの機関に報告を行うものとする。
  - ・本連盟理事会(連盟会長)・オペレーター委員会・大会運営理事
- (6) 各後援大会で出された公式成績は、オペレーター委員会に速やかにデータをメール送信すること。

## 2. 選手

- (1) 鳥取県内開催の大会に参加した選手は、ポイント取得を認められる。  
ただし、会員登録を期限内に済ませておかなければならない。(学連の選手については、学連への登録で会員登録とするがSAT競技者登録は別途登録すること。)
- (2) 登録申請用紙は、各クラブ宛にしかるべき時に発送される。  
これはまた、必要に応じて、ポイント登録委員に対して、注文することが出来る。
- (3) 加盟団体は、小学生・中学生・高校生・大学生の学校名・学年と加盟団体名を記入し、一般の選手は、県連に登録してあるクラブ名を記入すること。  
必ず加盟団体事務局を通して正式な登録用紙に記入し登録を申請するものとする。  
小中学校単位での登録は認めない(加盟団体を除く)。
- (4) 正式登録申請を済ませた者の内で新規申請者は、該当年度発行リストNo.1には、登録ナンバー、住所、氏名、生年月日、所属、ポイントのみ記入される。  
No.1リストはホームページと当該年度スキー鳥取(広報誌)に掲載される  
No.2以後リストには、ポイントが記載されホームページに掲載される。  
最終リストは各大会取得ポイント・最終ポイント・SAJポイントを記入した最終ポイントリストを、次年度スキー鳥取の掲載とホームページにも掲載される。

## 3. 計算…SAJポイント計算に準ずる。ポイント=(レースポイント+ペナルティポイント)

- 1、当該シーズンに取得したポイントの内、下記の(1)から(5)の順でポイントが優先される。  
シーズン最終にSATとSAJの最小値が最終ポイントと成る
- (1) 鳥取県内開催大会のベスト3ポイントの平均
- (2) 回転と大回転-2回の結果:2回の結果の平均を算出し、その平均値に20%のペナルティを適用します。
- (3) シーズン最少ポイントにシングルペナルティを加えたポイント
- (4) 基本ポイントにシングルペナルティを加えたポイント
- (5) SAJポイント
- (6) SATポイントが計算の結果、1000ポイント以上になった場合でもその数値がポイントになる。
- (7) 競技者にSATポイントの持ち合わせがなく、SATポイント表の有効期間にただ一つの記録しか得られなかった場合、その成績に対して以下のごとくペナルティが課せられる。  
→シングルペナルティ: SATポイントの20%・シングルペナルティ(競技中の負傷、病気、又は進学就職などで、該当年度に全種目、又は、1競技の成績しか得ていない場合)
- (8) SAT基本ポイント保持者が1試合も出場しなかった場合、SAT基本ポイントに、シングルペナルティを課すものとする。
- (9) シングルペナルティの最小値と最大値  
アルペン(GSL・SG 最低4から最大20)  
(SL 最低4から最大14)  
クロスカントリー(最低4から最大26)

## 4. 公式

### (1) レース・ポイント計算公式

$$P = \frac{F \times TX}{T_0} - F \quad \text{又は} \quad P = \left[ \frac{TX}{T_0} - 1 \right] \times F$$

TX = 該当選手のタイム…アルペン=1/100秒単位 クロス=1/10秒単位

T<sub>0</sub> = ラップタイム

|               |          |         |                   |
|---------------|----------|---------|-------------------|
| ・滑降           | F = 1250 | ・クラシカル  | F = 800           |
| ・回転           | F = 730  | ・フリー    | F = 800           |
| ・大回転          | F = 1010 | ・マススタート | F = 800 (SATにおいて) |
| ・スーパー大回転      | F = 1190 |         |                   |
| ・スーパーコンビネーション | F = 1360 |         |                   |

距離の違うコースの場合は、出来る限り距離(標高差)別にペナルティ計算をする。

クロスカントリーで距離別に計算が出来ない場合は距離比に1.5%割り増しをした所用タイムでレースポイントを計算する。

T<sub>X</sub> = 所用タイム × (最長距離 ÷ 当該クラス距離) × 1.15

T<sub>0</sub> = 最長距離ラップタイム

## (2) ペナルティー計算方式

下記のポイントとは、SAJポイント・各県ポイント・クラブ主催大会ポイントを示す。  
ただし、クラス別にスタートした場合クラス別のペナルティー計算書とする事が望ましい。  
総合ペナルティー計算書では極端な取得ポイントに成る場合などは、公式記録提出後であっても修正する事が出来る。

### ～ アルペン ～

$(A+B-C) \div 10$  = レースペナルティー

A = スタートしたSATポイント保持者の上位5名 (DF:Dを含む) の合計

但し、最低3名のポイント保持者が必要。残りはMAXを与える。

B = 競技順位10位中のベスト5のSATポイント合計

10位が2人の場合には2人共計算範囲に入れる事。

C = 競技順位10位中のベスト5のSATポイントのレースポイント合計

10位が2人の場合には2人共計算範囲に入れる事。その結果がレースペナルティーとなる。

ただし、レースポイントがそれぞれの競技に対応する最大限ポイントを越える場合実際のポイントでは、計算されない。(その代わりに、最大限ポイントが適用され計算される。)

最大限ポイント (男女共) 但し、下記ポイントに参加者上位5名大きい場合ポイント保持者上位5名以内の平均を適用

鳥取県スキー連盟公認・後援大会

GSL (高校生以上: 220 中学生以上: 220 小学生4年以上: 270 小学生3年以下: 900)

S L (高校生以上: 185 中学生以上: 220 小学生4年以上: 330 小学生3年以下: 1000)

全日本スキー連盟公認大会

DH: 310 SL: 185 GSL: 220 SG: 270

SAJ 最小ポイント (男女共)

FIS・SAJ-A 加算値=0.00 ミニマム00.00 マキシマム999.99

SAJ-B・K2 加算値=0.00 sajB ミニマム30.00 k2 ミニマム45.00 マキシマム999.99

### ～ クロスカントリー ～

・記録の上位5位までの選手の中でSATポイント上位3名の合計  $\div 3.5$

(コンマ後の2ポイントは四捨五入)

・その競技の5位以内の選手の中でSATポイント保持者が3人未満の場合、ノーポイント者には最大ポイントを採用し計算される。

・SAT登録者が3名以内の場合上位5位以内の最小持ちポイントをレースペナルティーとする。

・最大限(Max)ポイントは、クラシカル種目フリー種目共通

鳥取県スキー連盟公認・後援大会 (Maxの目安はSAT PointoN0,1各組の5位とする)

男子 (高校以上: 300 中学生以上: 400 小学生4年以上: 600 小学生3年以下: 900 か参加者トップ5の平均)

女子 (高校以上: 400 中学生以上: 500 小学生4年以上: 700 小学生3年以下: 1000 か参加者トップ5の平均)

全日本スキー連盟公認大会

クラシカル・フリー・バシュート・マス (共通で176)

## 5. ポイントの修正

前項で計算されたポイントをSAT最終ポイントリストとして発表する。

次年度の基礎ポイントはSAT最終ポイントリストを原則とする。

SAJポイントがない場合はSAT修正ポイントを採用する。

ただし、岡山県と鳥取県の整合性も考慮し再修正することが出来る。

修正されたポイントを次年度NO. 1ポイントリストとして

「スキー鳥取」に掲載しホームページで発表する。No. 2以降はhpに掲載する。

## 6. 計時

アルペンは1/1,000秒で計測しフィニッシュ時間からスタート時間を引き

1/1,000秒を切り捨てとし1/100秒で掲示する。

クロスカントリーは1/100秒で計測しフィニッシュ時間からスタート時間を引き1/100秒を

切り捨てとし1/10秒で掲示する。

補正計算

タイムが計測できなかったときは、計測できなかったタイムの前10人のタイムを手動計時から電子計時をひくこと。

もし10人いない場合は、残りのタイムで計算する。10人のタイムの時間差の合計を10で除算し、(0.044 - >

0.04, 0.045 - > 0.05) を切り上げて、電気計時無しの手動計時として申請される。

タイムとはスタート・フィニッシュそれぞれの時刻で修正する。(1/1000)までで計算する。

## 7. その他

この規則の改廃は、オペレーター委員会の議決により理事会に報告される。

但し、全日本において変更があったときは、SAJに合わせるよう速やかに変更することが出来る。

FIS公認コース 一覧 (鳥取県内コース)

SKI-GSLコース Kokusai Champion Daisen/Tottori (12373/03/17) 有効期限01.11.2027

全日本スキー連盟公認コース一覧 (鳥取県内コース)

SKI-SLコース

大山国際チャンピオンコース (SAJ07-SL-50/82)

大山上の原SLコース (SAJ07-SL-85/97) 樹氷パノラマコース (SAJ07-SL-170/11)

SKI-GSLコース

大山国際チャンピオンコース (SAJ07-GS-55/82)

樹氷スノーピアコース (SAJ07-GS-156/11)

スノーボード

大山上の原GSコース (SAJ07-SBGS-26/05) 大山上の原SLコース (SAJ07-SBSL-14/05)

クロスカントリーコース

大山林間コース (SAJ07-CC-65/08)